

# ビオガーデンの制作

フラワーファクトリ科 園芸デザイン部 2年 ダンロップるな

園芸デザイン部（ハニービーサイエンスクラブ）は、大阪府池田市で 2004 年より蜜蜂の飼育・養蜂を行っている。ミツバチが利用する植物に興味を持ち、ミツバチが利用する植物を使用した庭作りに取り組んできた。現在普及しているビオガーデンとして「バタフライガーデン」が有名である。ミツバチの為の庭を「ハニービーガーデン」と名付けた。新しいか形のビオガーデンとして普及させたいと考えて研究に着手した。

## はじめに バタフライガーデンの現状（普及の限界）

大阪近郊のバタフライガーデンについて調べて見た。2000 年頃のバタフライガーデン作りが盛んに提唱されたところに制作されたものは、現在も管理がされている。しかし、2010 年以降に作られたものは、現在はなくなっている。教育効果の高いガーデンである「バタフライガーデン」が、作られない現状・一般家庭に普及しなかった理由として、

①維持管理の為に専門的な知識が必要である。

②美しくない。手間がかかる（定期的に管理を行わないと雑草園になる）。趣味のガーデナーには、ハードルの高いガーデンと言える。

表-1 バタフライガーデン調査結果

	新梅田シティ	狭山池	伊丹市雀巣公園	箕面新町	大阪空港	茨木市藤原公園	箕面昆虫館
開始年	2005	2006	2006	2007	2013	2014	2014
終了年					2017	2017	2018
運営	積水ハウス	狭山池桜満開委員会 (大阪府立大)	伊丹市・伊丹昆虫館	NPO (箕面市)	関西大阪国際空港 ↓ 民間企業	大阪府 ↓ 茨木市公園 緑地課	大阪府営 箕面昆虫館 ↓ 共同企業体

## 目的 新しいビオガーデン(ハニービーガーデン)を作る

『①維持管理が簡単で、②美しく ③わずかなスペースでガーデニングが出来て、メリットがある庭であり、生き物を呼ぶ庭はできたなら、バタフライガーデンにかわるビオガーデンとして普及が可能である。作りを行えば普及が可能である』と考えた。私達に取り組んできたミツバチの為の庭は、新しいビオガーデンになるのではないかと！この庭を「ハニービーガーデン」と名付けて 2018 年より制作・普及に取り組む研究を開始した。

## 方法

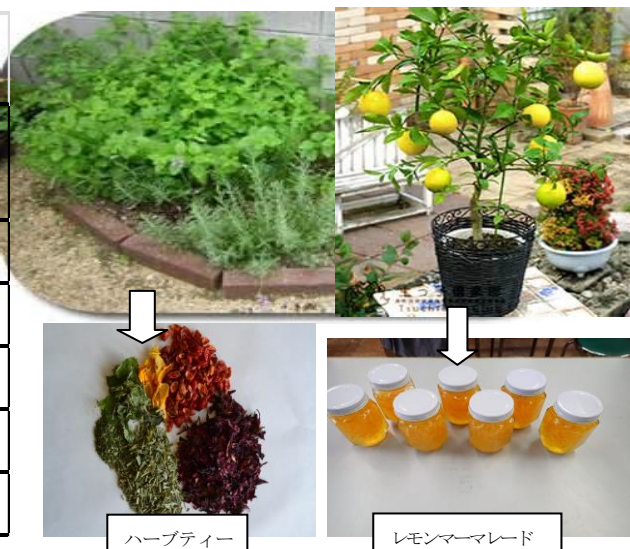
管理が簡単で、美しく、ガーデナーにもメリットがある。ミツバチをシンボルにしたビオガーデンを作る。ミツバチが利用する植物を使用（ミツバチに他にも多くの昆虫が良く訪花する）する。この植物を有効に使う（メリット）。

## 結果 ハニービーレモンガーデンの完成

ハニービーガーデンのモデルとして、レモンとレモン系ハーブを使用して栽培管理は比較的簡単な庭を制作した。「ハニービーレモンガーデン」と名付けた。ハーブに花が咲き、レモンが美しいガーデンである。このガーデンで栽培した植物を利用して加工品も作っています。ミツバチ（生き物）の為の庭を作っているという精神的な満足の他に、直接メリットのある庭（ミツバチの庭であり、自分の庭）である。当然管理にも力が入る。

表-2 使用植物

使用植物	
ハーブ	レモンバーム
	レモンバジル
	レモングラス
	レモンタイム
果樹	マイヤーレモン



## 考察 普及に向けて

日本ではトレンド(流行)の終わったバタフライガーデンだが、アメリカでは定着しており「バタフライガーデナー」という雑誌が定期的に発行されている。そして 2015 年以降には、ビーフレンドリー等の「ハチの為のガーデン」本が続々と発行されている。これらの本には CCD(蜂群崩壊症候群)との関係も書かれており、ビーフレンドリーガーデン(ハニービーガーデン)を増やすことで、小さな自然を作り、生物多様性の街づくりが出来ると書かれている。ハニービーガーデンは新しい形のビオガーデンとして期待が持てる。今後は、このガーデンの普及を目指し、小果樹とハーブを組み合わせたモデルガーデンの制作を続けたい。